

部活動☆生徒の活躍(R7)

生徒の活躍



陸上競技部

尾張高校新記録樹立

三年一組 伊藤 航巳

100mで尾張高校記録となる10秒59

秒を記録することができました。

私は前日まで全く調子が良くなく、当日は不安でいっぱいです。自己ベストなんて出るかわからないと思っていました。

当日は自分の走りをしようだけ考えていました。そのおかげで逆にリラック

スでき、自分のやりたかった「軽くみえ

るよう」に走ることができ、この記録が

出ました。元々この尾張高校記録は他校

の選手が10秒60秒で持っていました。その

人とはライバルで彼がここまで出した

なら自分も出さなければいけないと考

え日々練習を行ってきました。お互いに

アドバイスをし続けてきた結果だと感

じます。たった0.01秒差ですが、陸上

競技においては大きな差であり、とても

嬉しく感じています。私自身10秒5台は一

つの壁だと思っておりこの高校のうち

に出たことはかなり大きな自信に繋

がっています。今まで部活の仲間、ライ

バル、先生方、家族に三年間支えても

らつてきてその恩をずっと感じてきま

した。そういった支えがあったからこそ

走りききました。周りの三年生が引退を

していく中やつていて不安や焦りがあ

りましたが、この記録が出て良かつたと

思え改めてさらに記録を出したいと燃

えています。大学でも続けていくので自分

で限界を決めずにさらに上へ記録を

伸ばしていくように頑張っていきま

す。

しします。



在として恩返

U20日本陸上競技選手権大会 八位入賞

三年一組 畠中 孝介

僕は九月二十七日、二十八日に行われたU20日本選手権の800mという種

目で八位入賞という結果を収めました。

タイムは1分54秒69という自己ベストよ

り4秒近く遅い結果で満足はいかなかつたのですが全国の舞台でインター

ハイに続いて入賞を果たすことができ

てとてもいい経験になつたと思います。

今回の大会でいつもと大きく違つた

ことは高校のサポートだけではなく鈴

鹿大学の監督とコーチにサポートして

頂いたことがありました。鈴鹿大学の選

手は僕の決勝のレースの前日に優勝し

ていてとても良い刺激になりました。

レース前のコンディションのサポート

だけではなく選手からも良い刺激を貰え

てとても力になりました。

この大会の二週間前までは全然走れ

ていなくてとても不安が残る中での予

選を迎ましたが、予選では1分51秒63で

ギリギリ通過することができて、タイム

もかなり良かかったです。この流れで決勝

も走りたいと思ったのですが全国の舞

台はそう簡単ではなくレース終盤で一

人置いていかれる展開になりました。

改めてレベルの高さを実感しました。

しかしここで諦める訳ではなく大学で

さらに自分の力を強化して必ず日本の

トップで活躍できる選手になること、そ

して大袈裟かもしれないですが、いずれ

は世界の舞台で走れるようなそんな選

手まで成長したいと思つてこれからも応援

大会出場

二年五組 加藤 瑞己

U20日本陸上競技選手権大会 出場

U18陸上競技大会 5位入賞

二年四組 中村 仁

僕は九月二十七日、二十八日に行われたU20日本選手権の800mという種

目で八位入賞という結果を収めました。

タイムは1分54秒69という自己ベストよ

り4秒近く遅い結果で満足はいかなかつたのですが全国の舞台でインター

ハイに続いて入賞を果たすことができ

てとてもいい経験になつたと思います。

今回の大会でいつもと大きく違つた

ことは高校のサポートだけではなく鈴

鹿大学の監督とコーチにサポートして

頂いたことがありました。鈴鹿大学の選

手は僕の決勝のレースの前日に優勝し

ていてとても良い刺激になりました。

レース前のコンディションのサポート

だけではなく選手からも良い刺激を貰え

てとても力になりました。

この大会の二週間前までは全然走れ

ていなくてとても不安が残る中での予

選を迎ましたが、予選では1分51秒63で

ギリギリ通過することができて、タイム

もかなり良かかったです。この流れで決勝

も走りたいと思ったのですが全国の舞

台はそう簡単ではなくレース終盤で一

人置いていかれる展開になりました。

改めてレベルの高さを実感しました。

しかしここで諦める訳ではなく大学で

さらに自分の力を強化して必ず日本の

トップで活躍できる選手になること、そ

して大袈裟かもしれないですが、いずれ

は世界の舞台で走れるようなそんな選



香川県總文祭に参加して

管弦樂部



香川県へ行き、「ヴィーンの朝晩」を演奏しました。大きなホールで演奏することとは初めてで、とても緊張しました。大人数で弾くことも初めてだったので、とても新鮮で、良い経験になりました。この経験をいかで、これからも頑張っていきたいです。

香川県總文祭に参加して

管弦樂部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)陸上競技 男子800m

五位入賞 三年一組 畠中 孝介

PTAだより『晨風』第99号より